

## IT 最新技術動向（1日版グループ演習あり）

- [概要] IT に関する主要な最新技術・キーワードをコンパクトに理解するためのコースです。最新技術・キーワードの定義・必要性・分類・活用のメリット・デメリットを理解することができます。キーワードとしては、クラウドコンピューティング、仮想化技術、ビッグデータ、IoT を取り上げます。また、IT 業界では、常に新しい技術・キーワードが生み出されるため、今後、出現する技術・キーワードにご自身で対応できるように、自分で納得のいくまで調べ理解し、説明する体験もさせていただきます。
- [学習目標] ・ IT に関する主要な最新技術・キーワードを理解する  
・ 最新技術・キーワードを自分で納得のいくまで調べ理解し説明できる
- [受講対象者] ・ IT 企業の新入社員  
・ IT 部門に新規に配属された方
- [前提条件] 特になし
- [日数] 1 日間
- [形式] 講義＋演習（演習中心、40：60）
- [時間] 9：30～17：00
- [研修に必要なもの]  
講師用：プロジェクター、ホワイトボード、  
受講者用：PC（インターネットに接続されているもの） 1 台／名

[タイムスケジュール]

日程	内容
AM	<p>1. システム環境のキーワード：クラウドコンピューティングと仮想化技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム環境とは</li> <li>・クラウドコンピューティングの定義</li> <li>・クラウドコンピューティングの必要性 コンピュータコストの増加、 サイジングの難しいサービスの増加</li> <li><b>BCP</b> を重視</li> <li>・クラウドコンピューティングの分類 コンピュータ環境の専有状態による分類 利用階層による分類</li> <li>・クラウドコンピューティングを支える技術 仮想化技術</li> <li>・クラウドコンピューティングのメリット・デメリット</li> </ul> <p>(確認クイズ)</p> <p>2. データ活用のキーワード：ビッグデータと IoT</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ活用とは</li> <li>・ビッグデータ 定義 ビッグデータ活用の必要性 活用例 デジタルデータを活用した新サービスの創造 統計解析して消費者行動の把握や新たな知見の取得</li> <li>活用するデータの分類 社内データと社外データ 構造化データと非構造化データ</li> <li>ビッグデータを支える技術 <b>Hadoop</b> <b>Fluentd</b> クラウド・サービス メリット・デメリット</li> </ul>
PM	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IoT (グループ演習) 自分で調べてみよう</li> </ul> <p>(確認クイズ)</p>